

科目コード ()

幼児教育科 (1) 学年 (講義) (4) 単位

科目名 : [子どもの保健 I]

担当者 : [大窪 智美]

[授業の概要]

子どもの身体や精神に関する基礎知識、及び子どもにみられる病気とその特徴を学び、保健活動を実践するための知識を養う。

[授業要旨]

回数	大項目	小項目	授業内容	
第 1 回	オリエンテーション 子どもの健康と保健の意義	開講にあたり 健康及び保健とは 保健活動の意義と目的	授業の目的、概略について理解する。 健康及び保健という言葉の概念を理解する。 保育現場における保健活動の意義と目的について理解する。	
第 2 回	子どもの健康と保健の意義	子どもに関する健康指標 子どもの保健の取り組みと今後の課題	日本における、子どもに関する健康指標を学び、子どもの保健の課題を理解する。 子どもの保健の課題に対して、日本では、どのような取り組みが実践されているかを学ぶ。また、今後の課題を理解する。	
第 3 回	子どもの発育発達と保健	生物としての人の成り立ち 発育発達の原則	生物としての人の成り立ちを通して、子どもの発育発達の過程について学ぶ。 発育発達の原則を学び、月齢・年齢に応じた支援の必要性を理解する。	
第 4 回		身体発育の計測方法 身体発育の評価方法	身体発育の計測方法を学ぶ。 身体発育の評価方法を学び、身体計測の結果などを正しく評価できるようになる。また、保護者への連絡や説明など、適切な対応ができるようになる。	
第 5 回		生理機能の発達	さまざまな生理機能の発達過程を学び、月齢・年齢に応じた支援の必要性を理解する。	
第 6 回		運動機能の発達 精神機能の発達	運動機能・精神機能の発達過程を学び、月齢・年齢に応じた支援の必要性を理解する。	
第 7 回		精神・運動機能の発達 評価	精神・運動機能の発達評価方法にはどのようなものがあるかを学び、適切な評価ができるようになる。	
第 8 回		子どもにみられる主な病気	先天異常	遺伝子病、先天代謝異常、染色体異常の特徴について学ぶ。
第 9 回			感染する病気	麻疹、風疹、突発性発疹、伝染性紅斑、水痘、手足口病、流行性耳下腺炎、プール熱、日本脳炎、ポリオの特徴について学ぶ。
第 10 回	溶連菌感染症、ブドウ球菌感染症、サルモネラ感染症、破傷風、百日咳、結核の特徴について学ぶ。			
第 11 回	呼吸器系の病気 循環器系の病気		かぜ、扁桃炎、喉頭炎、気管支炎、肺炎の特徴について学ぶ。 先天性の心疾患、後天性の心疾患の特徴について学ぶ。	
第 12 回	消化器系の病気		口内炎、舌の異常、乳幼児の下痢症、周期性嘔吐症、先天性肥厚性幽門	

			狭窄症、周期性嘔吐症、腸重責症、ヘルニア、腸管内寄生虫の特徴について学ぶ。
第13回		血液の病気と小児がん	貧血、紫斑病、白血病、小児がんの特徴について学ぶ。
第14回		腎臓泌尿器・性器の病気	急性腎炎、ネフローゼ症候群、尿路感染症、外陰陰炎、陰のう水腫、停留睾丸、夜尿症、起立性蛋白尿の特徴について学ぶ。
第15回	まとめ及び評価	レポート作成 評価	前期授業の内容を振り返り、子どもの成長発達の特徴と保育者のかかわりについてレポートをまとめる。 筆記試験を実施する。
第16回	子どもにみられる主な病気	内分泌の異常による病気	甲状腺の病気、副腎の病気、下垂体の病気、糖尿病の特徴について学ぶ。
第17回		アレルギーによる病気	気管支喘息、アレルギー性鼻炎、アトピー性皮膚炎の特徴について学ぶ。
第18回		皮膚の病気	膿痂疹、脂漏性湿疹、蕁麻疹、汗疹、おむつかぶれ、伝染性軟属腫、白癬、血管腫の特徴について学ぶ。
第19回		神経系の病気 骨・関節・筋肉の病気	てんかん、熱性けいれん、脳炎、髄膜炎の特徴について学ぶ。 先天性股関節脱臼、O脚、X脚、扁平足、筋性斜頸、仮性肥大型進行性筋ジストロフィーの特徴について学ぶ。
第20回		眼の病気 耳の病気 鼻の病気	遠視、近視、乱視、弱視、斜視、色覚異常の特徴について学ぶ。 中耳炎、外耳炎の特徴について学ぶ。 鼻炎、副鼻腔炎の特徴について学ぶ。
第21回		口、歯の病気	舌小帯短縮症、口唇裂、口蓋裂、むし歯、不正咬合の特徴について学ぶ。
第22回	子どもの病気の予防	日常の健康観察	日常の健康状態の把握は、疾病の予防・早期発見のために重要であることを理解する。また、子どもにみられる主な病気を踏まえながら、日常の健康観察項目について学ぶ。
第23回		感染症の予防 予防接種	感染のメカニズムを学び、集団生活における感染拡大の防止対策を学ぶ。 感染症の予防対策として、予防接種が重要であることを理解し、予防接種の種類や接種時期について学ぶ。
第24回	子どもの精神保健	精神及び精神保健とは 生活環境と精神保健	精神および精神保健の言葉の意味を理解する。 生活環境と精神保健との関連を理解し、生活環境の重要性を理解する。
第25回		心身症とは何か 子どもの心身症	心身症とは何か、正しく理解する。 アレルギー疾患、過敏性腸症候群、頭痛、摂食障害、過換気症候群、起立性調節障害の特徴と対応の際の留意点について学ぶ。
第26回		子どもの心身症	チック、夜尿、遺尿、頻尿、心因性難聴、心因性視野狭窄、円形脱毛の特徴と対応の際の留意点について学ぶ。
第27回		精神疾患とは何か 子どもの精神疾患	精神疾患とは何か、正しく理解する。 行動の問題が生じる精神疾患、気分の障害が生じる精神疾患、不安を強く感じる精神疾患など、いろいろな精神疾患があることを学び、対応の際の留意点について学ぶ。

第 28 回	保育環境と衛生・安全管理	衛生管理 安全管理	保育現場において、衛生管理に留意しなければならない場所と、方法を学ぶ。 保育現場において起こりやすい事故と防止対策について学ぶ。また、日頃の訓練や安全教育の必要性について理解する。
第 29 回	健康および安全の実施体制	職員間の連携と組織的 取り組み 専門機関・地域との連 携 関係法規	職員間の連携の重要性、実施体制の組織化の必要性、マニュアル作成の必要性について理解する。 保健活動を支援するさまざまな専門機関があることを学び、連携をとることの必要性を理解する。 健康及び安全管理を実施するにあたっては、さまざまな法規に基づいていることを学ぶ。
第 30 回	まとめ及び評価	レポート作成 試験	1年間の授業内容を振り返り、保育現場における保健活動の重要性についてレポートをまとめる。 筆記試験を実施する。

【評価の方法】 定期試験、小テスト、出席状況、授業態度等を考慮して総合的に評価する。

【テキスト】 「子どもの保健Ⅰ」 佐藤 益子編著 (ななみ書房)

【参考書】 「国民衛生の動向」 (厚生統計協会)

「保育の中の保健」 巷野 悟郎 他 (萌文書林)

